

進路ニュース

平成27年7月22日
鳥取県立白兔養護学校
進路担当

平成27年度 第2号

いよいよ、明日から夏休みが始まります。この1学期間、児童・生徒たちは日々の学習や行事などに一生懸命取り組んできました。今回の進路ニュースは、先日、本校を会場に行われた東部地区特別支援学校就労促進セミナーと、第32回鳥取県障がい者技能競技大会（アビリンピック鳥取大会）についてお伝えします。

平成27年度東部地区特別支援学校就労促進セミナー

7月9日（木）に東部地区5校の特別支援学校が共催し、白兔養護学校を会場として、平成27年度東部地区特別支援学校就労促進セミナーを開催しました。この会は特別支援学校の生徒や授業の様子を事業所の方に知っていただき、障がい者の理解、就労促進につながることを目的としています。

午前中は「生徒・卒業生・卒業生保護者による意見発表」が行われ、生徒による意見発表では、高等部3年生の寺坂彩花さんが産業現場等における実習で学んだことや将来の仕事に対する夢等を発表し、参加者から大きな拍手をいただきました。また、この3月に卒業した卒業生保護者の中宇地さんは子育てに関すること、学校から社会へ移行した時の不安、会社への感謝などを話されました。

午後は障がい者雇用をしておられるイオン鳥取北店、株式会社串惣、鳥取県保健事業団の方の講演、その後、その3社の方と関係諸機関（障害者職業センター、ハローワーク、障害者就業・生活支援センターしらはま）のパネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは、各社で雇用されている障がいのある方の働きぶりや会社の支援体制、関係諸機関との連携等を語っていただきました。この場で、家庭でできる支援として、挨拶や返事の習慣づけ、自分のできることでできないことをきっちりわかるようにしておくこと等が述べられました。

参加企業の方から、「障がい者について理解が深まった」、「今後の就労促進の参考になった」等の感想をいただきました。

障がい者雇用事業所と事業所、保護者、作業所関係者等、総参加者数は約150名で、35社の企業の方に参加していただきました。

〈文責：本城 睦子〉



＜パネルディスカッション＞



＜作業製品の販売風景＞



＜生徒意見発表＞

第32回鳥取県障がい者技能技術大会 (アビリンピック鳥取大会)

第32回鳥取県障がい者技能競技大会が7月2日(木)に鳥取県福祉人材研修センターで行われました。この大会は障がい者の社会参加と雇用の促進に係る啓発を目的にし、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構等の主催で開かれたものです。

本校の高等部からも1年生2名、2年生8名、計10名の生徒が参加しました。この10名は産業現場等における実習が終わってからの約2週間、学習時間や休憩時間を使って練習をしてきました。最初は「思ったより難しい。」と感じ、作業がはかどらなかった生徒もいましたが、練習を重ねるうちに、速く、丁寧に且つ、正確に作業ができるようになりました。大会前日には壮行会が開かれ、友だちの応援でモチベーションもあがり、自信を持って当日を迎えました。

大会当日は特別支援学校や障がい福祉サービス事業所、企業からもたくさん参加されていましたが、オフィスアシスタントの部で2年生の森田海斗さんが銀賞、ビルクリーニングの部で2年生の奥谷貴裕さんが銅賞を獲得しました。残念ながら入賞できなかった生徒も練習の成果を十分に発揮することができました。大会翌日には、報告会で一人一人が大会に出場した感想と今後の学校生活で活かしたいことなどを発表し、友だちから大きな拍手を浴びました。

<文責：絹見睦美>



<オフィスアシスタント>

文書の三つ折り、封入作業、宛名シール貼り、封筒の仕分け



<ビルクリーニング>

床清掃及び机上清掃



<パソコンデータ入力>

伝票入力、請求書作成



<喫茶サービス>

接客・テーブルサービス



報告会の様子



入賞おめでとう！！